

せんだい 3.11 メモリアル交流館のこれまでの取り組み

メモリアル交流館企画展 5年間の軌跡

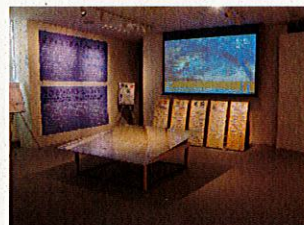
せんだい 3.11 メモリアル交流館は、平成 28 年（2016）2 月に全館オープンしてから 5 年間、被災地の方々や震災に関わり続けてきた団体の方々に温かい協力をいただきながら、様々な企画を実施してきました。なかでも、これまで開催してきた企画展は初回の「分かち持つ記憶— Taking Part in Memories」から、「わたしは思い出す 10年間の子育てからさぐる震災のかたち」まで計 17 回におよびます。歳月の流れや状況の変化に合わせて、異なる切り口で震災や地域について掘り下げてきました。



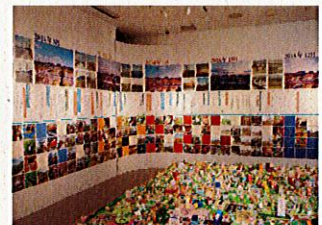
分かち持つ記憶
— Taking Part in Memories



夏の手ざわり 秋の音



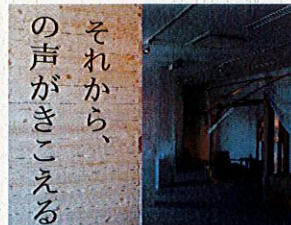
沿岸部の空想マップ
— 新たな魅力づくり 現在進行中 —



街からの伝言板
— 紡がれたことばたち —



せんだい 3.11 メモリアル交流館の1年



それから、の聲がきこえる



みんなでつくるこの地図



仙台市宮城野区蒲生字町 87



結〜消防・命のプロが見た
東日本大震災



MIYAGI1951〜米軍医のまなざし、戦後6年の沿岸部〜



竹であそぶ



それでも、下水は止められない。
〜東日本大震災・南蒲生浄化センターの知られざる闘い〜



貞山堀より愛をこめて
〜震災から8年後のふるさと〜



継承のしさく
— 小森はるか+瀬尾夏美 —



世界がすこやかであるために
〜東日本大震災と保健活動〜



うみべの小学校